

報 告 書

(3 班)

開催日時	平成 2 5 年 2 月 1 日 (金)		
開催場所	横田コミセン		
出席議員	挨拶 藤倉 泰治 (班長)		
	司会進行	佐竹 強	
	報告者	清水 幸男 (幹事)	
	記録者	菅野 定	欠席：菅原 悟
参加人数	2 4 人		
主な要望 提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高田松原の防潮堤の整備について。防潮堤の水門はどのようなものか。あの高さで本当に津波を止められるのか。横田まで津波が来るのか。 ・ 防潮堤の第 1 線堤と第 2 線堤はどのようなものか。水を止められるのか。 ・ 陸前高田市の将来像について語られていないがどうなるのか。 ・ 大型企業の誘致は難しいと思うが、将来の陸前高田市のために若い人が定着させるためにも企業誘致を市も議員も考えて欲しい。若い人の職がなければ遠くへ逃げてしまうのではないのか。 ・ 班編成についてどのように決めているのか。地元の議員が出席して説明してほしい。 ・ 金成の農業用水の水源地近くの山の斜面が崩れているが対処して欲しい。 ・ 高田に建設するホテルの情報が欲しい。陸前高田市の商業中心地がどこになるのか知りたい。 ・ 今後、竹駒町の商業の開発はどのようになってゆくのか知りたい。 ・ 横田町は震災時に大変復旧に協力した地区であり、自衛隊の基地、婦人部・消防団の活躍は特に著しいものがあつた、しかし、その恩恵がない。 ・ J R 大船渡線の B R T に横田駅を入れて欲しい。 ・ 気仙地区環境未来都市構想は陸前高田市にとって何か良いことがあるのか。良いことがあるとすれば教えて欲しい。 ・ メガソーラーの計画はどのようになったのか。 ・ 滝の里団地は今どのようなになっているのか。 ・ バイオマスエネルギーの利用と計画はあるのか。 ・ 国際防災大学を誘致する構想はどうなったのか。 ・ 奇跡の一本松について、観光スポットになったのか。有料駐車場、 		

	<p>有料トイレなどで資金を集めるべきではなかったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、仮設住宅に住んでいる方々がどのようになっていくか悩んでいる。今後の行程を横田町民も被災者の立場になって理解したい。 ・ 高田地区・今泉地区土地区画整理事業の進捗状況はどうか。その中で、宅地造成・住宅建設の工程を随時お知らせ願います。 ・ 災害公営住宅への入居はいつごろどのような手順で行われるのか、随時お知らせ願いたい。 ・ 仮設住宅の方々の健康管理に十分配慮して心あるケアをして欲しい。 ・ 資料は市民視点で地域に関する課題を中心につくって欲しい。 ・ 公営住宅はいつできるか早く報告して欲しい。入居するにはどうしたらいいのかも知らせて欲しい。 ・ 公営住宅は、戸建や二戸一住宅等の建設計画がないものか。
<p>所 感</p>	<p>藤倉泰治</p> <p>これからの陸前高田について真剣に考えていることを感じた。仮設住宅の方々など、発言もあらかじめ準備し切実な要望として話していた。こうした意見や提言をしっかりと受け止め、議会として市政に反映していく責任を感じた。このことが復興に向けた大事な観点と感じた。</p> <p>議会として、説明資料にとどまらず、復興における市の取組状況について、充分把握したうえで議会報告会に望むべきと感じた。議会報告会の場は、情報提供の場であり、市民の意見を聞く場だとあらためて思った。</p> <p>清水幸男</p> <p>震災復興では、市民が自活できる産業の振興、公営住宅の方針、復興の進捗状況を示す情報の提供、一本松保存と観光事業との組合せ等に関する意見や「高田のまちづくりビジョン」・「環境未来都市構想」・「国際防災大学誘致」の課題等多くのご意見を頂きました。</p> <p>菅野定</p> <p>震災後の復興に向けて、特にも仮設住宅に住む方々の精神的な悩み、住宅建設や公営住宅入居へのこれからの行程を知り、精神的に安定したいと切実に悩む人がたくさんいることを知りました。</p> <p>また、被災していない方々も一緒になって心配する町民の暖かさが伝わり、自信が湧いてきました。今後の住まいに関する情報をできるだけ早く、正確に知らせることが大切であると感じました。</p>

平成25年2月18日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤 倉 泰 治 ⑩